

ZP2V Series 機種選定方法

真空発生器1台に使用できる、サクシオンアシストバルブの数量を選定します。

選定条件

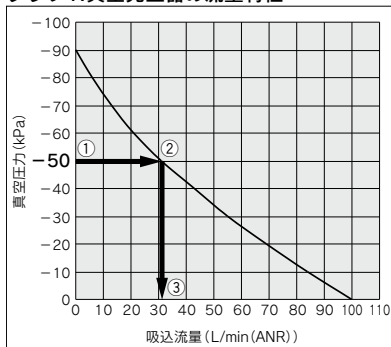
ワーク：漏れがないワークでサイズが複数。
 必要真空圧力：真空パッド1個当たりの真空圧力が-50kPa以上。
 使用サクシオンアシストバルブ品番：ZP2V-A8-05
 (パッド側接続ねじ径：M8、固定絞り径：φ0.5)

1 使用する真空発生器の流量特性の確認。

真空発生器の流量特性(グラフ1参照)より
 必要真空圧力から真空発生器の吸込流量(Q1)を求めます。

真空圧力-50kPa(①→②→③)で、
 吸込流量(Q1)≒31L/min(ANR)となります。

グラフ1.真空発生器の流量特性



2 サクシオンアシストバルブの数量(N)を求める。

仕様表(P.629)より、最低作動流量(Q2)と真空発生器の吸込流量(Q1)を用いて、
 真空発生器1台に使用できるサクシオンアシストバルブの数量(N)を求めます。

$$\text{サクシオンアシストバルブの数量(N)} = \frac{\text{真空発生器の吸込流量(Q1)}}{\text{最低作動流量(Q2)}}$$

例. 使用サクシオンアシストバルブ：ZP2V-A8-05

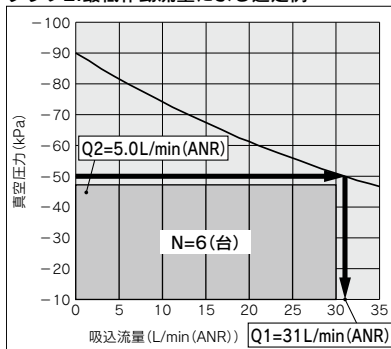
表1より、Q2は5.0L/min(ANR)となります。

$$N = \frac{31 \{L/min(ANR)\}}{5 \{L/min(ANR)\}} \approx 6 \text{ (台)}$$

表1.固定絞り径による最低作動流量の関係

パッド側接続ねじ径	M8
固定絞り径(mm)	0.5
最低作動流量(L/min(ANR)) Q2	5.0

グラフ2.最低作動流量による選定例



上記選定例は、上記選定条件における一般的な選定方法を示していますので、全てに適用されるものではありません。
 真空配管において、P.629仕様に表示「最低作動流量」が確保される機器や配管をご選定ください。
 最終的にはお客様の責任においてテストを行い、その結果に基づいて、使用条件を決定してください。